



部長先生インタビュー

岡山大学整形外科 尾崎 敏文教授

岡山大学整形外科 鉄永 智紀助教

—— 同門会員で女性会員数は何名でしょうか？

岡山大学整形外科同門会（桃整会）会員数が 681 名、桃整会女性医師の人数は 30 名（4.4%）です（2022.01.27 現時点）。そのうちリハビリテーションを主にされている女性医師が 5 名（16.7%）です。

—— 貴教室のホームページでは、研修コースが丁寧に示されていますが、産休・育休・介護休暇などで中断せざるを得ない場合も、この研修コースに速やかに戻することは可能でしょうか？

もちろん可能です。復帰にあたりましては、不安なことが多くあると思いますので、医局長・教授を中心に詳細に復帰に必要な際のサポート内容を直接確認し、復帰しやすい環境作りを医局・関連施設ともに連携して行っております。また、岡山では MUSCAT プロジェクトという岡山県で働く女性医師のキャリア・復職サポートシステムが運用されており、大学病院で医員としてフレキシブルに働くことも可能となっております。

—— 初期研修期間中メンター制度（指導医が、研修医の相談役を務める）のようなものはありますでしょうか？

各診療グループを 1 ヶ月ごとに幅広く研修していくシステムを導入し、その際にはメンター制度がしっかりしており、マンツーマンでの指導を行い、専門分野の習得のみならず、臨床全般の相談・指導もしております。研修医の先生方からは、男女問わず、いろいろと丁寧に学ぶことができよかったとの声をいただいております。

—— 専門領域を決めるにあたっては、本人の希望はどの程度考慮されるのでしょうか？

ほぼ 100%の先生が本人の希望の分野にすすんでおります。

本人の希望する分野にすすんでいただくことが、キャリアアップにつながると我々は考えておりますので、全面的に希望分野にすすめるように環境を整えています。現在、外傷、手外科、脊椎外科、腫瘍、関節外科、運動器疼痛、リハビリテーション、教育、PMDA と多岐にわたって活躍されております。

—— 地域的に遠方への赴任も多いのではないかと推測されますが、育児・介護などの家庭的な状況も考慮されるのでしょうか？

もちろん最大限考慮しております。家族を大切にできない人は患者さんを大切にできないという方針が我々岡山大学です。医局長を中心に、育児・介護の状況を確認しております。言いにくい内容もあると思いますので、定期的なアンケートに文面で記載できるようにもしております。また、いつでも相談可能な雰囲気作りを目指し、オープンマインドな医局です。

—— 専門性を追求するにあたり、短期・中期の国内留学のような研修制度はありますか？

関連病院はもとより、希望の他の施設があれば推薦状等の記載を積極的に行っております。海外への施設研修・学会発表など女性医師の先生方も積極的に行っております。その際の渡航費用・学会参加費のサポートも行っております。

—— **育休・介護休などで、長期休職後の臨床への復帰にあたり、支援体制はつくっておられるのでしょうか？**

休暇中には、医局長を中心に現在の状況や復帰の希望を定期的に連絡し確認し、早い段階から復帰の支援体制のシミュレーションを関連施設の長の先生方と行っております。安心して、育休・介護休をとっていただけたらと思います。

—— **最後に医学生・研修医の先生・女性医師への応援メッセージをお願いいたします。**

岡山大学整形外科は、ひとりひとりの個性を最大限に伸ばす医局です。我々の仲間として、チームとして一緒にタッグを組んでいただけると嬉しいです。いつでもお待ちしております！！